

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月29日

計画の名称	市町村道の通学路等の生活空間における交通安全対策の推進（第2期）（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	聖籠町, 燕市, 加茂市, 見附市, 長岡市, 十日町市, 津南町, 南魚沼市, 柏崎市, 弥彦村, 阿賀野市, 小千谷市											
計画の目標	歩行者及び自転車利用者の安全・安心な道路空間を確保するため、交通安全対策を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,442	A	2,442	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	通学路交通安全プログラムに位置付けられた要対策箇所のうち、5ヵ年（R5年度～R9年度）で対策の実施が必要な対策箇所の「実施（工事着手）率」を100%にする。 対策の実施（工事着手）率 =（対策を実施した箇所） / （5ヵ年で対策の実施が必要な箇所） × 100	0%	%	100%
2	通学路交通安全プログラムに位置付けられた要対策箇所のうち、R4年度までに着手済の箇所の「完了率」を100%にする。 実施中対策の完了率 =（対策を完了した箇所） / （5ヵ年で対策の完了が必要な箇所） × 100	0%	%	100%
3	未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検等を踏まえた要対策箇所のうち、対策を完了した割合を向上させる。 対策の完了率 =（対策を完了した箇所） / （対策が必要な箇所） × 100	91%	%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-025	道路	一般	阿賀野市	直接	阿賀野市	市町村道	交安	(他)山崎次郎丸線	歩道整備 L=0.75km	阿賀野市						188	-	
	A01-026	道路	一般	聖籠町	直接	聖籠町	市町村道	交安	(他)蓮潟旧笹山江線	歩道整備 L=0.15km	聖籠町						31	-	
	A01-027	道路	一般	燕市	直接	燕市	市町村道	交安	(1)道金水道町線	路肩拡幅 L=0.2km	燕市						36	-	
	A01-028	道路	一般	見附市	直接	見附市	市町村道	交安	(他)今町坂井線	路側帯カラー化 L=0.11km	見附市						2	-	
	A01-029	道路	一般	小千谷市	直接	小千谷市	市町村道	交安	(1)千谷幹線	側溝改良 L=0.11km	小千谷市						24	-	
	A01-030	道路	一般	十日町市	直接	十日町市	市町村道	交安	(1)幸町城之古線ほか	歩行空間整備 L=0.1km	十日町市						20	-	

事前評価チェックシート

計画の名称： 市町村道の通学路等の生活空間における交通安全対策の推進（第2期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 ・上位計画との整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応	
I. 目標の妥当性 ・地域課題を踏まえた整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と定量的指標が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標がわかりやすい内容になっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と事業内容が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 ・事業の効果の見込みが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 ・計画は住民ニーズに沿ったものである。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

・地元要望に基づく事業を実施している。

○